



「京都観光振興計画2025」におけるこれまでの取組



「京都観光振興計画2025」における取組の経過

区分／年度		R2(2020)		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
柱1 市民生活と観光の 調和・豊かさの向上	京都観光振興計画2025策定	・京都観光モラル策定 ・各種支援補助 (コロナ関連)(～R3)		・観光がもたらす効果の見える 化強化の開始 ・観光事業者へのワクチン 職域接種実施 ・業界団体と共に、新しい京都 観光に向けた共同宣言の実施 ・宿泊施設の構想段階での住民 説明手続の義務付け	・観光課題対策の強化			
		・観光事業者向け感染症対 策サポートナビ運営 ・宿泊施設における原則駐 在の義務付け			・京都観光モラル宣言事業者・ 優良事業者表彰制度の開始 ・宿泊施設等と連携した京都 経済の域内循環促進の開始	・観光課題に関する国への緊急 要望	・「市民生活と観光の調和推進 プロジェクトチーム」設置 ・宿泊税の見直し案の発表 ・市バス等の市民優先価格の検 討開始	・宿泊税の新税率の適用 (予定)
		・3密を避けた観光の促進 (～R4)						
		・地元応援!食べよう泊まろ うキャンペーン						
		・各種補助・キャンペーン 等による事業者支援(～R4)						
柱2 京都の「光」の磨き 上げ、質の向上		・中小企業等のデジタル化 支援の開始		KYOTO again!キャンペーン ・平日の京都へ! おこしやす キャンペーン ・宿泊施設に係るバリアフリー 基準を充実	・外客向けプロモーション再開 ・京都にち・とまキャンペーン (日曜日等の宿泊喚起)	・認定通訳ガイド新規募集再開 ・祇園祭における高付加価値体 験事業の開始(DMO)	・府市連携による周遊観光促進 強化の開始(まるっと京都)	・万博アクションプランに 掲げる周遊観光促進等の 各誘客事業の実施
柱3 担い手の活躍		・感染症対策ガイドライン 推進宣言制度及び事業所 ステッカー交付(～R5)			・商店街等のキャッシュレス・ DXチャレンジ支援の開始	・業界への就職等につながる魅 力発信開始 ・担い手確保に関する緊急支援 の実施		
柱4 危機に対応でき、 安心・安全で持続可 能な観光の推進		・MICE主催者向けPCR検査 支援			・外客向け緊急・災害時の案内 強化(公式サイト等)	・サステナブルなMICE開催支援 補助制度開始(再掲)		
柱5 MICEの振興		・SDGs探究学習プログラム 「Q都スタディトリップ」開始 ・「脱炭素先行地域」への選定			・外客向け緊急・災害時の案内 強化(公式サイト等)	・「脱炭素先行地域」の取組と して、文化遺産等の脱炭素転 換の支援を開始		・ユニークベニューなど 京都の強みを活かした MICE誘致の強化(予定)
主な出来事	コ ロ ナ	・コロナ禍 (緊急事態宣言①、②) ・GoToトラベルキャンペーン (国)		・コロナ禍 (緊急事態宣言③ まん延防止 等重点措置①～④) ・府内版GoTo(国、府)	・コロナ禍 ・訪日客の段階的な受入緩和 (国) ・府内版GoTo、 全国旅行支援(国、府) ・五山送り火、時代祭 3年ぶり に本来の形で実施	・水際対策終了、コロナ5類移行 ・中国、日本への団体旅行解禁 ・全国旅行支援(国、府) ・葵祭、祇園祭 4年ぶりに本来 の形で実施		
	そ の 他	・東京オリンピック			・文化庁の京都移転	・国、首相指示の下、オーバ ーツーリズムの未然防止・抑制 に向けた対策パッケージ発表 ・京都市立芸術大学の京都駅前 移転	・訪日外客数過去最多を記録 ・世界遺産「古都京都の文化 財」登録30周年	・大阪・関西万博
	評 価 等	・Travel + Leisure世界6位		・Travel + Leisure世界5位	・国際会議開催件数 国内第2位 (ICCA基準)	・Travel + Leisure世界第3位 ・スイス観光賞受賞(アジア初) ・国際会議開催件数 国内第2位 (ICCA基準)	・Travel + Leisure世界第3位 ・Best Incentive City(Asia)受賞 (都市単位では日本初)	
動向関連データ／年		R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	出典
観光客数		5,352万人	2,159万人	2,102万人	4,361万人	5,028万人	集計中	京都観光総合調査
日本人宿泊客数(実)		937万人	486万人	512万人	911万人	939万人	集計中	京都観光総合調査
外国人宿泊客数(実)		380万人	45万人	5万人	58万人	過去最高 536万人	集計中	京都観光総合調査
観光消費額		12,367億円	4,535億円	4,457億円	10,179億円	過去最高 15,366億円	集計中	京都観光総合調査
国際会議開催件数		過去最高 383件	26件	4件	70件	172件	集計中	JNTO 統計

次期観光振興計画策定

1

次期観光振興計画策定

柱1 市民生活と観光の調和・豊かさの向上①

・…施策に関連するデータ等
・計画期間中(R3～7)に開始した取組には始期を記載
・R7年度事業については、当該事業に係る予算案を議会にて審議中

1 コロナ禍からの力強い回復

(巻末に一括掲載)

2 観光課題対策の強化

産業観光局において執行体制を強化(R4、R6)。R5年度には観光課題に関する国への緊急要望を実施、R6年度には「市民生活と観光の調和推進プロジェクトチーム」を新設するなど、全庁を挙げて課題対策を推進。

1) 観光地の混雑対策の強化

ア 時期・時間・場所の3つの分散化

時期の分散：「京の夏の旅」「京の冬の旅」等による閑散期対策

時間の分散：朝夜観光、事前予約制のコンテンツ造成の支援及び情報発信

場所の分散：「とっておきの京都」プロジェクト、府市連携による周遊観光促進、主要観光スポット周辺へのエリア内分散

▶観光客の月別繁閑差：3.6倍(H15)→1.4倍(R5)

▶朝・夜観光特設ページPV：
20万件(R2)→62万件(R5)

▶「とっておきの京都」エリアの訪問者数：
+約20%(R5秋→R6秋、位置情報データ)

イ 混雑予測、混雑状況の見える化

- ・市内主要観光スポットにおけるライブカメラによるリアルタイム映像の配信(R3～)
- ・ビッグデータを活用した混雑予測結果の配信
- ・国交省と連携し、混雑情報等を分かりやすく発信するサイト「京スマ」を新たに導入(R6)

▶ライブカメラPV：611万件(R3)→780万件(R5)

▶48%が訪問先等を変更(アンケート累計)

2) 道路の混雑対策

- ・ハイシーズンにおける交通規制の実施
- ・ハイシーズンにおける市営清水坂観光駐車場の観光バス完全予約制・自家用車受入制限(R6)
- ・パークアンドライドの推進
(約8千台分のP&R駐車場を確保)
- ・路上滞留する観光バスに対する現地啓発
- ・混雑マップ「京スマ」内で観光バス駐車場の満空情報の可視化を開始(R7)

▶東大路通南行の旅行速度の改善(R6秋)

▶市営清水坂観光駐車場を利用するバスの来場日・来場時間が平準化。五条坂の混雑が緩和(R6秋)

▶R6秋のP&R駐車場利用実績：約3千件(R5比2.3倍)

▶幹線道路の観光バスの1日平均啓発件数の減少(御池通：R5比59%減(R6秋))



第59回「京の冬の旅」



リアルタイム映像の配信



交通規制(東大路通社会実験)

3) 市バスの混雑対策

ア 市バス等の「市民優先価格」の実現

- ・市バス等の「市民優先価格」の実現に向けた検討・協議(R6～)

イ 市バス輸送力の効率的な配分等

- ・観光特急バスの導入及び利用促進(R6.6月～)

旅マエや旅ナカにおけるPR、京都駅前バスのりば等における案内サイン増設、京都市バス「おもてなしコンシェルジュ」による添乗案内の実施、「観光特急バス」の停車停留所への案内員の配置

- ・市バスのリアルタイム運行情報の発信

交通局ホームページにおける市バスの車内混雑度や走行位置等の発信(R7～)、国際標準(GTFS-RT)に準拠したリアルタイム運行情報の公開(オープンデータ化)を目指す(R10公開予定)

- ・ハイシーズンにおける臨時便の増発

▶観光特急バスのお客様数10万人突破(R6.10月)、1日当たり4千人に迫る御利用(R6.11月)、並行系統の混雑緩和に一定寄与

▶ハイシーズンは京都駅から清水寺・祇園方面に向かう市バスを3～4分間隔で運行(R6秋)

▶京都駅D2のりばの待ち時間は概ね10分以内で、最大でも15分程(R6秋)



観光特急バス

ウ 地下鉄等の鉄道を生かした移動経路の分散

- ・「バス1日券」の廃止(R6.3月利用停止)及び「地下鉄・バス1日券」の販売促進
- ・ハイシーズンにおける市バスから地下鉄への無料振替

4) 手ぶら観光の推進

- ・手ぶら観光情報サイト「HANDS FREE KYOTO」における手ぶら観光情報の発信
- ・ハイシーズンにおける臨時の手荷物配送・預かりサービス窓口の設置(京都駅前)
- ・混雑マップ「京スマ」内でコインロッカーの位置や満空情報、手ぶら観光サービスの事前予約等のサービスの開始(R7)

▶R6秋の臨時手荷物窓口の実績：443個/日(R5比+8%)



臨時手荷物預かり・配送窓口

5) 京都駅一極集中の緩和

- ・京都駅一極集中の緩和に向けた情報発信(R5～)
- ・ハイシーズンにおける期間限定案内所の開設、分散ルートへの誘導(京都駅前)(R5～)
- ・京都駅における案内誘導サインの充実(R7)
- ・京都駅新橋上駅舎・自由通路の整備(R13供用開始予定)
- ・京都駅発着の特急「はるか」を山科駅まで延伸(JR西)(R11供用開始予定)
- ・三条京阪駅周辺における拠点性向上(都市再生緊急整備地域への指定(R6))



京都駅新橋上駅舎・自由通路整備

▶期間限定案内所等において5千人に分散ルートへの誘導を実施(R6秋)

柱1 市民生活と観光の調和・豊かさの向上②

・…施策に関連するデータ等
・計画期間中(R3～7)に開始した取組には始期を記載
・R7年度事業については、当該事業に係る予算案を議会にて審議中

⑥ マナー啓発

ア 観光マナーの周知

- ・マナー啓発媒体「MIND YOUR MANNERS」を活用し、旅マエから旅ナカにおいてマナーや日本の文化や生活習慣の発信(R3～)
- ・一部エリアへの警備員配置
- ・祇園町南側地区における観光マナー啓発キャンペーン(R6)
- ・事業者がマナーを周知するための支援(フレーズ集の作成)(R6～)



マナー啓発キャンペーン

➤京都市によるマナー啓発の取組を知っている市民の割合：17.1%(R3)→22.7%(R6)

イ 散乱ごみ対策

- ・政令市最多の街頭ごみ容器の設置(約300基)や、寄付に基づくスマートごみ箱の設置(R4～)
- ・春・秋、GW、祇園祭における街頭ごみ容器の回収回数追加や巡視啓発
- ・地域団体等と連携した対策の強化(R6、7)



スマートごみ箱

➤まちの清潔さに大変満足した外国人観光客の割合：59.7%(R1)→70.7%(R5)

⑦ 宿泊施設における地域調和

- ・民泊通報・相談窓口の設置
- ・民泊施設(届出住宅)における住居専用地域での営業を1/15～3/16に制限
- ・全ての旅館業施設に対し、原則、施設内での駐在を義務付け
- ・宿泊施設の構想段階での近隣住民等への説明手続きの義務付け(R3)

➤無許可営業疑いの民泊施設への指導により営業中止・撤退した件数：累計2,606件(調査・指導中28件)(R7.1月)

3 観光に対する市民の共感の輪の拡大

- ・観光がもたらす効果の見える化強化(R3～)
- ・「ジュニア京都検定テキストブック」の配布による文化・観光の学習機会の提供
- ・市民向けポータルサイト「LINK! LINK! LINK!」において、観光効果と併せて、事業者が主体的に提供する市民限定サービスや、市民向けキャンペーン等を発信(R6～)
- ・宿泊税の使途に関する情報発信の強化(R6～)
- ・「京都観光に関する市民意識調査」の実施

➤「LINK! LINK! LINK!」PV：108,051件(R6.12月～R7.2月中旬)

➤市民限定サービス提供事業所数：62件(R7.2月中旬)



観光効果の見える化等

4 観光による地域経済等への貢献の最大化

- ・京都の伝統産業等と宿泊施設を結びビジネスマッチング「コトノムスビプロジェクト」(R4～)
- ・多様なエリアにおける魅力発信を通じた地域振興
- ・京都レストランウインターズスペシャル等の「食の京都」の推進

➤「コトノムスビプロジェクト」における成約実績：52件(R4、5)



「コトノムスビ・プロジェクト」商談会

5 観光による文化の継承と創造、美しい景観の保全

- ・非公開文化財の特別公開等、文化観光の振興による文化財の保存・活用への貢献
- ・四だ行事への支援
- ・ライトアップ・プロジェクションマッピングによる誘客促進(二条城等)
- ・宿泊税を活用した文化政策、景観政策の推進



NAKED meets 二条城 2024 秋の豊穣祭

6 観光による多様な分野における課題への対応

- ・ウォーキングツアーやまち歩きイベント、京都一周トレイルR、自転車観光の促進など、健康や生きがいの増進につながる取組
- ・宿泊税を一部活用し、道路、駅等のインフラのバリアフリー化を促進

■京都観光モラルの普及・実践促進

【観光客向けの取組】

- ・「京都観光モラル」の露出強化(SNS、サイネージ、宿泊施設における発信、旅先クイズ等)
- ・京都観光モラルに賛同する観光客を対象に、事業者が提供する優待等が利用できる「京都観光モラル宣言推進事業」(R6～)

➤特典協力事業者数：111事業者(R7.2月)

➤訪問地域を思いやる行動をとった観光客の割合：日本人67.0%、外国人80.2%(R5)



モラル宣言イベント

【事業者向けの取組】

- ・業界団体と共に、新しい京都観光に向けた共同宣言の実施(R3.11月)
- ・京都観光モラル推進宣言事業者制度、優良事業者表彰制度(R4～)
- ・特設サイトによる優良事業の見える化・横展開(R4～)

➤宣言事業者数：累計339事業者(R5)、表彰事業者数：累計51事業者(R5)

➤地域調和につながる行動に積極的に取り組んでいる事業者の割合：49.0%(R6)

【市民向けの取組】

- ・「観光に対する市民の共感の輪の拡大」において実践を促進

■宿泊税の見直し

- ・宿泊税の見直し(見直し案の発表(R6)、新税率の適用(R8.3月予定))



柱2 京都の「光」の磨き上げ・質の向上①

・>…施策に関連するデータ等
・計画期間中(R3～7)に開始した取組には始期を記載
・R7年度事業については、当該事業に係る予算案を議会にて審議中

1 ウイズコロナ社会で安心して楽しめる観光の充実

(巻末に一括掲載)

2 コロナ禍からの力強い回復(再掲)

3 観光による文化の継承と創造、美しい景観の保全(再掲)

4 京都の「光」の磨き上げ

① 時期・時間・場所の分散化につながる多様な魅力の発信

- ・市内の多様なエリアや、朝夜観光、事前予約制のコンテンツ造成の支援及び情報発信
- ・「京の夏の旅」「京の冬の旅」等による閑散期対策、「京都芸術花火」「京都レストランウインターズスペシャル」の開催支援
- ・「そうだ京都、行こう。」「三都スペシャルキャンペーン」など、鉄道事業者等と連携した誘客キャンペーン
- ・府市連携による「まるっと京都」周遊観光ツアーの造成(R6～)や、川をテーマとした新たな観光コンテンツの造成(R7～)

- 「とっておきの京都」ウェブサイトPV：
47万件(R1)→190万件(R5)
- 朝夜観光コンテンツ造成実績：
19件(R4)→29件(R6)
- 「まるっと京都」周遊観光ツアー販売人数：
2千人(R6.9月～R7.1月)



事前予約制の導入促進



京都レストランウインターズ
スペシャル2024

② 文化芸術、伝統産業などを活かした観光の推進

- ・非公開文化財の特別公開
- ・文化観光コンテンツ造成の支援及び情報発信
- ・モダン建築を市内各所で一斉公開する「京都モダン建築祭」(R4～)
- ・ライトアップ・プロジェクションマッピングによる誘客促進(二条城等)
- ・四大行事への支援
- ・物産展「大京都展」PR支援

- 観光客の「入場料・拝観料」平均単価：
日本人 1,450円(R1)→1,594円(R5)
外国人 1,869円(R1)→3,797円(R5)



非公開文化財の特別公開

③ 新たなエリアの賑わい創出

- ・洛西“SAIKO”プロジェクト(R5～)
- ・meetus山科-醍醐(山科・醍醐活性化)(R6～)
- ・京都駅西部・東南部・東部エリア活性化
- ・西陣地域活性化

5 環境・自然等をテーマとした観光の推進

- ・京都一周トレイル^R、自転車観光等のアウトドアコンテンツの発信強化(R2～)
- ・京都の温泉の魅力発信
- ・岡崎さくら・わかば回廊十石舟めぐり、びわこ疏水船の運航
- ・農山村資源を活用したグリーンツーリズムの推進

- 京都一周トレイルマップ販売数：8,599件(R5)
- 自転車観光専用ホームページPV：
44千件(R3)→115千件(R5)



京都西山ヒルクライム参拝2024
(とっておきの京都エリア)

6 映画・マンガ・アニメ等をテーマとした観光の推進

- ・メディア・映像制作会社等への撮影支援、映画等のロケ地情報の発信
- ・大規模マンガ・アニメイベント“京都国際マンガ・アニメフェア”「京まふ」

- 京まふ来場者数：23千人(初開催(H24))→36千人(R6)



京まふ2024

7 リピーター向けの取組の充実

- ・予約履歴データを活用した観光CRM(Customer Relationship Management)の実施(DMO)
- ・コンテンツ造成支援を通じた体験型メニューの充実
- ・京都市認定通訳ガイドの募集・育成(コロナ禍で新規募集停止・R5～再開)

- 京都市認定通訳ガイド登録者数：155名(R6.12月)



京都市認定通訳ガイド
2024認定式

8 宿泊観光・長期滞在化の促進

- ・OTAを活用した閑散期における旅館の魅力発信
- ・朝夜観光、食をテーマとした観光振興、多様なエリアでの魅力発信等による周遊観光促進等による、宿泊観光・長期滞在化の促進

- 観光客の宿泊割合：
日本人21.0%(R1)→21.7%(R5)
外国人42.9%(R1)→75.6%(R5)



旅館の魅力発信事業

柱2 京都の「光」の磨き上げ・質の向上②

・…施策に関連するデータ等
・計画期間中(R3～7)に開始した取組には始期を記載
・R7年度事業については、当該事業に係る予算案を議会にて審議中

9 受入環境整備・おもてなし

1) ユニバーサルツーリズム

- ・「京都ユニバーサル観光ナビ」の開設・運営
- ・新たに建築等を行う宿泊施設について、全客室のバリアフリー基準及びバリアフリー情報の公表制度の新設(R3～)
- ・駅等の公共交通機関におけるバリアフリー化支援



駅等のバリアフリー化支援

2) 受入環境整備

- ・市バス・地下鉄におけるデジタル乗車券やクレジットカードによるタッチ決済の導入に着手(R7～)
- ・混雑対策を通じた快適な観光の促進
- ・チャットボットによる質問対応、ニーズに応じたプラン提案等を行う観光案内DX事業「京ナビオンライン」の開始(R5～)
- ・観光案内標識、名所説明立札の整備、管理
- ・観光地等におけるトイレ洋式化等を促進する「観光トイレ」制度の運用
- ・観光事業者等のデジタル・DX化の支援
- ・観光事業者の外国語表記を支援するガイドラインの策定・利用勧奨(DMO)(R6～)
- ・食のニーズの多様化へ対応するための研修の開催



外国語表記ガイドライン

- 買物環境に大変満足した外国人観光客の割合：30.2%(R1)→39.3%(R5)
- キャッシュレス環境に大変満足した外国人観光客の割合：26.6%(R1)→37.9%(R5)

10 情報発信の強化

- ・京都観光公式サイトやSNSでの情報発信強化、海外向け公式サイトのリニューアル(R7予定)
- ・海外有力メディアや海外インフルエンサーの発信力を活かした情報発信(R6～)
- ・ファミトリップの再開(R5～)
- ・定番の観光スポット以外の魅力を発信する映像コンテンツの制作(R5)
- ・NY、LA、ロンドン、パリ、シドニー、台北、上海における海外情報発信・収集拠点の設置・運営(上海を追加(R6))
- ・民間ウェブサイトの良質な記事をまとめた特設サイト「Kyoto Official Media Partners」の開設(R5～)

- 公式サイトPV：[国内向け] 約2,300万件(R5)
[海外向け] 約330万件(R5)

- 海外メディア取材支援広告換算額：約1.2億円相当(R5)



Bloomberg、CNN、AP通信、Travel + Leisure等において京都の観光マナーに関する記事が掲載

11 修学旅行・教育旅行対応の強化

- ・修学旅行生向けSDGs探究学習プログラム「Q都スタディトリップ」の運営(R4～)
- ・京都ならではの体験プランを提供する「アオハルギフト・京都」の実施(R5～)
- ・京都の大学生等が修学旅行生を引率する「京都B&S(ブラザー&シスター)プログラム」の実施

- Q都スタディトリップHP延べPV：35万件(R4～R7.1月)

- アオハルギフト・京都、延べ実施校数：51校(R5、6)



Q都スタディトリップ

12 上質な観光サービス等の充実

- ・世界遺産をはじめとした文化財における高付加価値な観光コンテンツの造成支援(R6～)
- ・祇園祭等において高付加価値な体験メニューを提供する「GIONプロジェクト」(DMO)(R5～)
- ・北米、ヨーロッパ、アジア太平洋地域における高付加価値旅行者向けの商談会への出展(北米での商談会に初出展(R6))
- ・インバウンド向けの新たなコンテンツ開発に向けた伴走支援を行う「インバウンドイノベーション京都」の実施(R4～)

- 商談会出展件数：4件、商談件数：270件(R5)
- インバウンドイノベーション支援数：計18社(R4～6)



祇園祭におけるプレミアム観覧席等の販売

13 市民のおもてなしの向上・相互理解促進

- ・「京都観光おもてなしコンシェルジュ」、「京都国際観光おもてなしコンシェルジュ」制度の運用

- おもてなしコンシェルジュ任命者数：288名(R2)→305名(R5)



海外商談会への出展

■万博を契機とした観光振興

- ・「大阪・関西万博きょうと推進委員会」における取組の協議、オール京都での取組を具体化するアクションプランの作成(R5、6)
- ・アクションプランに基づき、川をテーマにした観光コンテンツ造成や「京都レストランスペシャル」等を実施(R7)



柱3 担い手の活躍

1 コロナ禍からの回復に向けた事業者支援

(巻末に一括掲載)

2 観光関連人材の確保・育成・定着支援の強化

(1) 観光関連産業に対する取組

ア 観光関連事業者・従事者向けの取組

- ・コロナ禍での能力開発を支援する「京都観光オンラインアカデミー」の開設(DMO)(R2~6)
- ・コロナ禍からの急回復を踏まえ、観光関連事業者に対する求人サイト等掲載の緊急支援(R5)
- ・業界のイメージアップにつながる情報を発信する「京都観光はたらくNavi」の開設、優良事例の横展開(R5~)
- ・事業者(担い手確保・生産性向上等)、従事者(スキルアップ等)向け研修の実施(R5~)
- ・観光関連従事者と学生との交流会(R6~)
- ・「京都観光事業者実態調査・従事者実態調査」による実態把握(R3~)

▶京都観光はたらくNavi PV: 8万件(R5~R7.2月)

イ 京都市認定通訳ガイドの育成

- ・京都市認定通訳ガイドの募集・育成(コロナ禍で新規募集停止・R5~再開)

▶京都市認定通訳ガイド登録者数: 155名(R6.12月)

(2) 市内産業全体に対する取組

- ・人材交流の促進により、次世代リーダーの育成やミドル層の活性化等を促す「地域企業「担い手交流」実践プログラム」の実施
- ・「地域企業インターンシップ促進プロジェクト」の実施(R5~)
- ・その他、行政による雇用施策の推進

▶地域企業「担い手交流」実践プログラム
在籍型出向マッチング件数: 累計60件(R6.12月)

▶地域企業インターンシップ促進プロジェクト
参加企業数: 延べ116社(R6.12月)



京都観光オンラインアカデミー



京都観光はたらくNavi



担い手交流実践プログラム

3 観光関連ビジネスの活性化

(1) 観光関連産業に対する取組

- ・宿泊施設・商業施設等が施設整備等の際に金利負担軽減を受けられる「総合特区支援利子補給金制度」の利用助奨(特区制度)
- ・外国人料理人の受入れを助奨、日本料理を海外に普及・発信できる人材育成の促進(特区制度)
- ・事業者同士のネットワークづくりを促す交流イベント「京都インバウンドカフェ」の開催(R4~)
- ・京都の伝統産業等と宿泊施設を結ぶビジネスマッチング「コトノムスビプロジェクト」(R4~)
- ・OTAを活用した閑散期における旅館の魅力発信
- ・多様なエリアにおける魅力発信による、市内各地域の経済や雇用の活性化

▶利子補給金制度 延べ利用実績: 123件、
利子補給金対象融資総額: 237億円(H25~R5)

▶京都インバウンドカフェ 開催実績(R4~6):
計14回開催、延べ参加者数377名

(2) 市内産業全体に対する取組

- ・中小企業のデジタル化やDXを支援する「中小企業デジタル化・DX推進事業」の実施(R2~)
- ・商店街等におけるキャッシュレス化・デジタル化の取組を支援する「商店街キャッシュレス化・DXチャレンジ」の実施(R4~6)
- ・大阪・関西万博を契機に、ビジネス交流やネットワーク構築を図るため、海外企業等による市内企業の視察やスタートアップとの交流等を行うビジネスツアー「Tech Tour Kyoto」の実施(R6~)
- ・その他、行政による産業振興政策の推進

▶商店街キャッシュレス化・DXチャレンジ:
累計39件支援(R4~R7.1月)



特区制度を活かした
外国人料理人の受入れ



京都インバウンドカフェ



中小企業デジタル化・DX推進事業
(ホテルでのクラウドシステム導入例)

柱4 危機に対応でき、安心・安全で持続可能な観光の推進

・…施策に関連するデータ等
・計画期間中(R3～7)に開始した取組には始期を記載
・R7年度事業については、当該事業に係る予算案を議会にて審議中

1 ウイズコロナ社会における安心・安全な観光の推進

(巻末に一括掲載)

2 感染症・災害・国際危機等への危機管理体制の強化

- ・京都駅周辺のターミナル対策、観光地対策、各事業所対策を柱とした「帰宅困難者対策」の推進
- ・「京都市防災ポータルサイト」「京都市帰宅支援サイト」の多言語化
- ・京都観光公式サイトにおける災害情報の発信強化、観光情報・防災情報を案内するステッカーの作成・市内の観光案内標識への貼付等、多言語による災害情報の発信強化(R4)
- ・文化財の関係者と地域住民が協力し、文化財を火災から守る「文化財市民レスキュー」制度
- ・その他、行政による防災危機管理体制の徹底

➢緊急避難広場：50件、一時滞在施設：124件、避難誘導団体：22件(R7.1月)

3 特定市場に偏らない誘客の多角化

- ・発災後に速やかに観光が回復するよう、京都ファン・リピーター獲得に向けたプロモーションの実施
- ・特定市場に偏らない誘客を進めるため、京都観光公式サイト、海外商談会、海外情報発信・収集拠点(7拠点)等を通した幅広い市場への訴求

➢京都市は全国と比較して欧米豪(北米、ヨーロッパ、オセアニア)の割合が高く、アジア圏の割合が低い

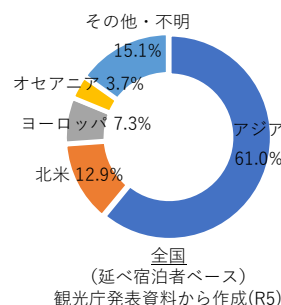
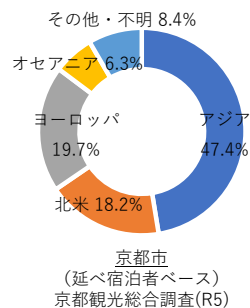
4 観光事業者のリスク対応力強化の支援

- ・オンラインによるBCP策定・活用研修(DMO)(R2～)
- ・京都市公式ホームページ(京都市情報館)での事業者向け補助メニューの一元発信
- ・京都観光モラルにおいて、災害時への備えの勧奨

➢BCP策定に取り組んでいる事業者の割合：66.9%(R6)



帰宅困難者ガイドマップ



BCP策定・活用研修(DMO)

5 市民・観光客双方の安心・安全の確保

- ・犯罪・事故防止、路上喫煙・客引き行為の禁止及び巡視、防犯カメラの設置促進
- ・京都観光公式サイトにおける多言語での医療機関情報の提供
- ・音声による119番通報が困難な方に対する「NET119」や、119番通報等における多言語通訳の実施
- ・小規模宿泊施設を対象とした「消防検査済表示制度」
- ・住宅・建築物の耐震化の促進

➢「治安」に大変満足した外国人観光客の割合：56.2%(R1)→68.0%(R5)



路上喫煙防止啓発ポスター

6 環境に配慮した観光の推進

- ・京都一周トレイル^R、自転車観光等、環境負荷の少ない観光の推進
- ・サステナブルなMICE開催支援補助制度の創設(R5～)
- ・修学旅行生向けSDGs探究学習プログラム「Q都スタディトリップ」の開発・提供(R4～)
- ・アメニティグッズの持参等を促す「京都エコ修学旅行」の勧奨
- ・宿泊事業者に対して「アメニティ提供等の抑制」を、宿泊客に対して「宿泊事業者の取組に協力する」旨を努力義務化・勧奨
- ・食品ロス削減を目指す「食品ロスゼロプロジェクト」
- ・祇園祭におけるリユース食器活用等ごみ減量の取組の促進・支援
- ・国が定める「脱炭素先行地域」の選定を受け(R4)、文化遺産等の脱炭素転換を支援(R5～)
- ・大規模排出事業者に対して温室効果ガスの排出量削減を義務付け
- ・自動車に依存しない「歩くまち京都」の推進
- ・京都観光モラルにおいて、環境に配慮した観光・事業活動を勧奨

➢京都一周トレイル^Rが第18回エコツーリズム大賞受賞(環境省)(R5)

➢市内事業者のCo2排出量(家庭部門除く)：501万t(H27)→378万t(R4)

➢同、エネルギー消費量(家庭部門除く)：56,313TJ(H27)→50,499TJ(R4)



京都一周トレイル^R京北コース



脱炭素先行地域への選定

1 安心・安全なMICEの徹底、開催スタイルの変容への対応 (巻末に一括掲載)

2 MICE京都ブランドの一層の磨き上げと競争力強化

- ・MICE開催経費の一部を助成する「京都市MICE開催支援助成金制度」「大規模国際コンベンション開催支援助成金」や、国際会議誘致活動経費の一部を助成する「大規模国際コンベンション誘致支援助成金」の運用
- ・伝統産業製品を活用した記念品や、舞や茶道、鏡開き等の京都らしい演出に係る費用を補助する「京都らしいMICE開催支援補助制度」の運用
- ・京都らしい特別な体験を提案する「エクスカーションガイド」の作成・活用
- ・MICE事業者のSDGsへの理解促進や先進事例の創出を図るための「サステナブルなMICE開催支援補助制度」の創設(R5～)
- ・海外商談会への出展や海外MICEメディアと連携した商談会の開催(R5～)
- ・SDGsの観点を踏まえた、MICE開催都市としての京都の魅力を訴求するPR動画の作成、活用(R5)
- ・京都の強みを活かしたMICE誘致の強化(「京都らしいMICE開催支援補助制度」における「ユニークベニュー活用」に係る経費補助の新設、「京都市MICE開催支援助成金制度」における京都市内での開催実績があるMICEに対する助成額の加算、「京都らしいMICE開催支援補助制度」「京都市MICE開催支援助成金」「大規模国際コンベンション誘致支援助成金」の採択件数の拡充)(R7)
- ・今後のより効果的な施策立案につなげるためのMICE実態調査の実施(R7)

➤「M&C ASIA」(アジア最大級のMICEメディア)が主催する表彰プログラム「M&C Asia Stella Awards 2024」において「Best Incentive City (Asia)」を日本の都市で初受賞(R6)

※ ユニークベニューの取組、報奨・研修旅行等の開催実績、コンベンションビューローのスタッフのスキルの高さ等が高く評価



「京都らしいMICE開催支援補助制度」を活用し、会場内に京都らしさを演出



海外商談会への出展



「M&C Asia Stella Awards 2024」授賞式

3 MICEによる地域貢献

- ・「京都らしいMICE開催支援補助制度」による伝統産業製品の活用促進
- ・文化の継承にも資するユニークベニューの活用促進
- ・「サステナブルなMICE開催支援補助制度」による市民公開講座、市民参加型イベントの開催促進(R5～)
- ・大阪・関西万博を契機に、ビジネス交流やネットワーク構築を図るため、海外企業等による市内企業の視察やスタートアップとの交流等を行うビジネスツアー「Tech Tour Kyoto」の実施(R6～)
- ・MICE参加者等から寄附金を募り、伝統文化、祭事、芸能、伝統工芸の継承・保全等の活動を支援する「京都MICE基金」の運用(R3)

➤助成制度を活用して開催された市民公開講座への参加者数：2,000名以上(R5)



ユニークベニューの活用



国際会議における市民参加型イベント

4 MICE誘致・開催に向けた担い手の育成と環境整備

- ・「サステナブルなMICE開催支援補助制度」による学会運営への学生の参加等の支援(R5～)
- ・国連主催の「インターネット・ガバナンス・フォーラム(IGF)」をはじめとする象徴的会議の誘致・開催支援
- ・国内MICE主催団体等への積極的な訪問活動
- ・首都圏における営業活動等のネットワークの構築
- ・京都国際会館のホール拡張に向けた国への要望
- ・MICE関連事業者等による情報共有及び意見交換を行う京都市MICE会議、実務者会議の開催

➤助成制度を活用して国際会議に参加した学生数：700名以上(R5)
➤京都国際会館ニューホール拡張が決定(2,000㎡から4,000㎡に拡張(現行2,000㎡で1,600人収容))(R9予定)



様々な国際会議を開催



コロナ関連の主な観光政策①

令和元(2019)年度

- 1/30 ・京都市(京都府)でコロナ 1 例目を確認
- 2/1 ・**政府 段階的な入国制限強化**
- 3/3 ・第54回「京の冬の旅」キャンペーンの一部中止を発表
- 3/18 ・観光業界向けオンライン研修の配信を開始 (後の京都観光オンラインアカデミー)(DMO)
- DMO会員向け「新型コロナウイルス対策緊急支援助成金」の創設(DMO)

令和2(2020)年度

- 4/6 ・「京都市観光事業者等緊急支援補助金」の創設
- 4/16 ・**政府 緊急事態宣言(京都府 1 回目)**
- 5/15 ・葵祭 路頭の儀及び斎王行列祓の儀等の中止
- 5/21 ・**政府 緊急事態宣言 解除**
- 6/9 ・事業者の感染症対策への支援を議論する庁内プロジェクトチーム(アドバイザーチーム)の設置
- 6/10 ・「修学旅行専用電話相談窓口」の開始
- 6/16 ・京都観光公式サイトに、事前予約制コンテンツの特集ページの開設
- 6/19 ・**政府 府県をまたぐ移動の自粛要請解除(観光は府県をまたぐものを含めて徐々に再開)**
- 「地元応援！京都で食べよう、泊まろうキャンペーン」の開始
- 7/ ・祇園祭 神輿渡御、山鉦建て及び山鉦巡行等の中止
- 7/15 ・「新型コロナウイルス感染症対策宣言」(ガイドライン)の取りまとめ
- 「安心・安全なMICE開催支援補助金」の創設
- 7/21 ・「新しい修学旅行『京都スタイル』」(修学旅行ガイドライン)の策定・発信
- 7/22 ・**政府 GoToトラベル事業開始(東京発着除く)**
- 7/30 ・「ガイドライン推進宣言事業所ステッカー」の交付を開始
- 8/ ・朝・夜観光、事前予約制の体験型観光コンテンツ造成強化の開始
- 8/ ・修学旅行専用24時間感染相談電話の開設等、修学旅行生に関する受入環境の整備の強化
- 第45回「京の夏の旅」キャンペーンの実施(規模縮小)(～9月)
- 8/5 ・「アドバイザーチームによる事業者の感染症対策サポートナビ」の開設
- 8/6 ・京都観光公式サイトに、特設ページ「withコロナ時代の京都観光ガイド」の開設
- 8/16 ・五山送り火 点火箇所を大幅に縮小して実施
- 8/19 ・「新しい生活スタイル対応のための感染症対策補助金」の創設



地元応援！京都で食べよう、泊まろうキャンペーン



ガイドライン推進宣言事業所ステッカー



京都まちけっと

赤：緊急事態宣言等の期間中の主な出来事や、水際対策の強化等に関する主な出来事
青：GoToトラベル等の国・府における観光振興の取組や、水際対策の緩和等に関する主な出来事
※ 各種補助事業は観光政策に限り記載

- 9/30 ・コロナ禍の観光マナーを「京都まちけっと」として発信
- 10/1 ・**政府 GoToトラベル事業 東京発着予約解禁**
- 10/16 ・「ウィズコロナ社会におけるMICE京都モデル」(MICE開催ガイドライン)の策定・発信
- 10/22 ・時代祭 行列巡行等の中止
- 10/28 ・京都一周トレイルRのプロモーション強化
- 11/19 ・観光快適度(混雑予測)を「京都観光快適度マップ」としてリニューアル・発信強化
- 11/25 ・「換気・加湿等対策補助金」の創設
- 12/8 ・自転車観光のプロモーション強化
- 12/28 ・**政府 GoToトラベル事業全国一斉停止**
- 1/14 ・**政府 緊急事態宣言(京都府 2 回目)**
- 2/28 ・**政府 緊急事態宣言 解除**
- 3/ ・第55回「京の冬の旅」キャンペーンの実施(規模縮小)(～4月)
- 3/7 ・コロナ禍における日本初の大規模国際会議「第14回 国連犯罪防止刑事司法会議(京都コンGRES)」開催



トレイル・サイクリング等
アウトドアコンテンツの発信強化

令和3(2021)年度

- 4/1 ・「修学旅行生緊急帰宅支援助成金」の創設
- 4/12 ・**政府 まん延防止等重点措置(京都府 1 回目)**
- 4/23 ・「京都観光快適度マップ」においてライブカメラ映像の配信を開始
- 4/25 ・**政府 緊急事態宣言(京都府 3 回目)**
- 5/15 ・葵祭 路頭の儀及び斎王行列祓の儀等の中止
- 6/21 ・**政府 緊急事態宣言 解除**
- ・**まん延防止等重点措置(京都府 2 回目)**
- 6/16 ・DMO・KCVB会員向け「新型コロナワクチン職域接種実施に対する支援助成金」の創設
- 7/ ・第46回「京の夏の旅」キャンペーンの実施(規模縮小)(～8月)
- 祇園祭 神輿渡御、山鉦巡行等の中止(一部の山鉦は文化継承の観点から山鉦建てを実施)
- 7/11 ・**政府 まん延防止等重点措置 解除**
- 8/2 ・**政府 まん延防止等重点措置(京都府 3 回目)**
- 8/16 ・五山送り火 点火箇所を大幅に縮小して実施
- 8/20 ・**政府 緊急事態宣言(京都府 4 回目)**
- 8/30 ・DMO・KCVB会員向けのコロナワクチン職域接種の実施(第1回目)
- 9/30 ・**政府 緊急事態宣言 解除**
- ・「MICE主催者向けPCR検査等支援補助金」の創設



コロナ禍・日本初の大規模国際会議
「京都コンGRES」



コロナ関連の主な観光政策②

- 10/5 ・DMO・KCVB会員向けのコロナワクチン職域接種の実施(第2回目)
- 10/18 ・周辺部への分散観光、ウェルビーイング・ツーリズムを促進する実証事業「『aRound162』プロジェクト」の実施(DMO)
- 10/22 ・京都府 府内版GoTo「きょうと魅力再発見旅プロジェクト」開始
 - ・時代祭 行列巡行等の中止
- 11/1 ・「KYOTO again!」キャンペーンの実施(～12月)
 - 1/ ・第56回「京の冬の旅」キャンペーンの実施(PR縮小)(～3月)
- 1/17 ・「平日の京都へ！おこしやすキャンペーン」の実施(～2/28)
- 1/26 ・京都府 府内版GoTo「きょうと魅力再発見旅プロジェクト」の新規予約の一時停止
- 1/27 ・政府 まん延防止等重点措置(京都府4回目)
- 3/21 ・政府 まん延防止等重点措置 解除
- 3/22 ・京都府 府内版GoTo「きょうと魅力再発見旅プロジェクト」再開



aRound162プロジェクト



KYOTO again! キャンペーン

令和4(2022)年度

- 5/15 ・葵祭 路頭の儀及び斎王行列禊の儀等の中止
- 6/10 ・政府 観光目的の入国についてパッケージ旅行から条件付きで再開
 - ・京都観光公式サイトにおいて、外国人向けの感染症対策特設ページの開設、マナー啓発発信再開
- 7/ ・第47回「京の夏の旅」キャンペーンの実施(3年ぶりに通常の形で催行)(～9月)
 - ・祇園祭 巡行等を可能な限り本来の形で実施
- 8/16 ・五山送り火 3年ぶりに本来の形で実施
- 8/21 ・日曜日等の宿泊を喚起する「京都にち・とまキャンペーン」の実施(～10月)
- 9/7 ・政府 添乗員を伴わないパッケージツアーについても外国人観光客の受入れを認め、対象を全ての国・地域に拡大
- 10/ ・外国人観光客向けのプロモーション強化の再開
- 10/11 ・政府 入国者数上限の撤廃 訪日客の個人旅行の解禁、短期滞在向けの査証(ビザ)取得免除措置再開
 - ・京都府 府内版GoTo「きょうと魅力再発見旅プロジェクト」を全国に拡大(全国旅行支援)(～12月)
- 10/22 ・時代祭 3年ぶりに本来の形で実施



平日の京都へ！
おこしやすキャンペーン



京都にち・とま
キャンペーン

赤：緊急事態宣言等の期間中の主な出来事や、水際対策の強化等に関する主な出来事
青：GoToトラベル等の国・府における観光振興の取組や、水際対策の緩和等に関する主な出来事
※ 各種補助事業は観光政策に限り記載

- 1/ ・第57回「京の冬の旅」キャンペーンの実施(4年ぶりに通常の形で催行)(～3月)
- 1/10 ・京都府 全国旅行支援「きょうと魅力再発見旅プロジェクト」再開(～6月末)

令和5(2023)年度

- 4/29 ・政府 水際対策終了
- 5/8 ・政府 新型コロナの5類移行
- 5/16 ・葵祭 雨天順延の後、4年ぶりに本来の形で実施
- 7/ ・祇園祭 4年ぶりに本来の形で実施
- 8/10 ・中国政府 日本への中国人団体旅行の解禁
- 12/1 ・京都府 全国旅行支援「きょうと魅力再発見旅プロジェクト」再開(～12月末)
- 1/9 ・京都府 全国旅行支援「きょうと魅力再発見旅プロジェクト」再開(～1月末)